

愛麺株式会社

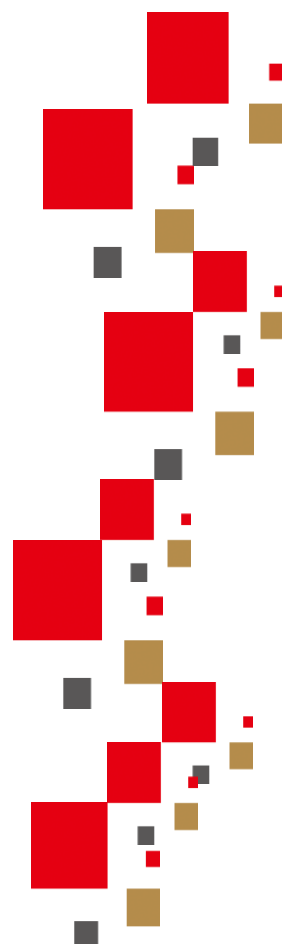
ポジティブインパクトファイナンス モニタリング実施報告書（2025 年度）

2025 年 7 月 24 日

株式会社愛媛銀行

企画広報部 ひめぎん情報センター

 愛媛銀行





1. モニタリング対象

企業名	愛麺株式会社
融資実行日	2024 年 5 月 31 日
モニタリング直近実施日	2025 年 4 月 30 日

2. モニタリング結果

本モニタリングにおいて、愛麺株式会社は、地域資源の活用による商品開発や観光資源との連携、労働環境改善等を通じて、経済・社会・環境の各インパクト領域における前向きな取組みを継続していることが確認されました。特に、有給休暇取得率や女性管理職比率の向上といった人的資本の分野において、明確な進捗が見られ、社内体制の整備も進められています。一方で、KPI の一部については、外部環境や事業方針の影響などにより、現時点では進捗が限定的となっているものもありました。当行としては、引き続き対話を重ねながら、事業環境の変化も踏まえた継続的なモニタリングと支援を行ってまいります。

3. KPI 実績と取組状況

① 地域活性化への貢献

KPI	目標	実績
総売上高	2034 年 1 月期に 30 億円	22.7 億円 (2024 年 1 月期) 24.3 億円 (2025 年 1 月期)
「八幡浜ちゃんぽん」と「松山鍋焼うどん」の売上高	2034 年 1 月期に合計 3 億円	2.54 億円 (2024 年 1 月期) 2.97 億円 (2025 年 1 月期)
愛媛県産穀物 (小麦粉、そば粉、米) の使用量 (金額ベース)	2029 年 1 月期に 10%増加 2034 年 1 月期に 20%増加 (2024 年 1 月期比) (2024 年 1 月期 : 4.93 百万円)	4.93 百万円 (2024 年 1 月期) 2.17 百万円 (2025 年 1 月期) (2024 年 1 月期比▲56%)

【取組みの進捗状況】

- ・総売上高については、前期比+6.9%の増収となりました。高価格帯商品の販売単価上昇が主要因とされています。引き続き魅力ある商品の開発や販売エリアの拡大により、売上増加を目指す方針です。
- ・「八幡浜ちゃんぽん」と「松山鍋焼うどん」の売上について、2025 年 1 月期は 2.97 億円と、目標に迫る水準まで拡大しました。飲食店出店による観光客向けの販路強化など、地域の食文化を活かしたマーケティングが奏功しています。
- ・愛媛県産穀物の使用量 (金額ベース) は、2025 年 1 月期に 2.17 百万円と、前年から減少しました。主要取



引先の方針転換が影響したと見られますが、現在は新商品開発に向けた協議が進められており、今後の伸長が期待されます。

【当行所見・今後のフォロー】

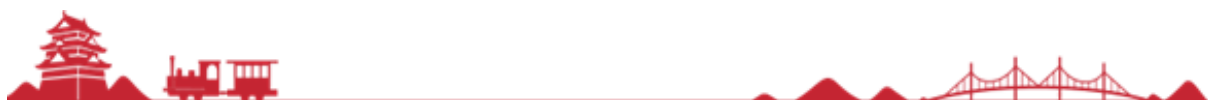
- ・地域資源を活用した商品開発や販路拡大の取組みは、地域経済への貢献という観点からも意義深いものと考えています。特に、「八幡浜ちゃんぽん」と「松山鍋焼うどん」の地域ブランド商品の販売が堅調に推移している点は、観光振興との連携によるシナジーも期待されます。一方で、県産原料の使用量減少といった課題も見られました。ただし、新商品開発に向けた動きも確認されており、今後の展開に引き続き注目してまいります。当行としても、こうした地域循環型の取組みに対して、情報共有や事例紹介などを通じて支援を継続してまいります。

② 従業員エンゲージメントの向上

KPI	目標	実績
年次有給休暇取得率	2029年1月末に65% 2034年1月末に100%	30.2%（2024年1月期） 58.4%（2025年1月期）
人間ドック受診率（※35歳以上）	2029年1月期に30% 2034年1月期に50%	0%（2024年1月期） 27.9%（2025年1月期）
女性管理職比率	2029年1月期に20% 2034年1月期に30%	16.6%（2024年1月期） 28.6%（2025年1月期）
男性育児休業等取得率	2030年1月期に100%、 以後、毎年100%維持	該当者なし（2024年1月期） 該当者なし（2025年1月期）
女性の産休・育休取得後の定着率	毎年50%以上	0%（2024年1月期） 0%（2025年1月期）
障がい者雇用率	毎年法定雇用率を超過	5.0%（2024年1月期） 4.0%（2025年1月期）
従業員数	2030年に250人	198人（2024年1月期） 215人（2025年1月期）

【取組みの進捗状況】

- ・年次有給休暇取得率について、2025年1月期は58.4%と大幅に上昇しました。最低取得日数の制度化や部門別の状況管理により、改善が進んでいます。
- ・人間ドック受診率は、取組み初年度で27.9%となりました。費用補助制度の整備が奏功しています。引き続き、受診費用の全額・一部補助により、健康意識の向上を図る方針です。
- ・女性管理職比率は2025年1月期で28.6%と伸長しました。登用機会の創出を通じて、順調に推移しています。
- ・男性の育児休業に関して、2025年1月期は該当者がいませんでした。ただし、今後の二重増加が想定されており、引き続き、理解促進や環境整備に取り組む姿勢が示されています。
- ・女性の復職定着率について、2025年1月期は、育休取得者2名がいずれも復職前のため、実績は前期と変わりません。引き続き、女性従業員が勤務しやすい環境整備に取り組む方針が示されています。



- ・ 障がい者雇用率は、2025 年 1 月期に 4.0%と、引き続き法定雇用率を超える水準を維持しています。社会的責任としての雇用確保への姿勢が確認されました。
- ・ 従業員数は 2025 年 1 月期に 215 人となり、前期比で増加しています。生産体制の強化と地域雇用創出の両立が図られています。

【当行所見・今後のフォロー】

- ・ 労働環境や健康管理に関する取組みが全体として前向きに進んでおり、制度整備や管理職層による状況把握が効果を上げていますと受け止めています。産休・育休後の定着率については、直近の該当者が復職前であるため、今後の動向に注目してまいります。当行としても、安心して働き続けられる環境づくりを後押しできるよう、引き続き情報提供等を通じて支援してまいります。

③ 環境に配慮した事業活動の推進

KPI	目標	実績
GHG 排出量の削減	2025 年 1 月期までに定量目標を設定、以後、削減を進める	目標未設定（2024 年 1 月期） 目標未設定（2025 年 1 月期）
営業用車両の次世代自動車への転換	2030 年 1 月期に 50%	20.0%（2024 年 1 月期） 20.0%（2025 年 1 月期）
袋麺包装資材の環境配慮素材への転換	2030 年 1 月期に 50%	0%（2024 年 1 月期） 0%（2025 年 1 月期）

【取組みの進捗状況】

- ・ GHG 排出量削減目標は未設定ですが、基準年の算定作業が進行中です。「e-dash」を用いたデータ取得により、今後の目標設定に向けた基盤整備が進められています。
- ・ 営業用車両の転換について、2025 年 1 月期は 20%と横ばいですが、今後、計画的な導入が見込まれます。
- ・ 袋麺包装資材の環境配慮型素材への転換について、2025 年 1 月期は未実施でしたが、今後の消費者ニーズやコスト面の動向を見ながら検討を進めていく方針が示されています。

【当行所見・今後のフォロー】

- ・ GHG 排出量の算定が進行中であり、今後の目標設定に向けた基礎的な環境整備が進められていることを確認しました。営業車の次世代車両化や包装資材の転換についても、短期的には進捗が限定的であるものの、企業として検討を継続しており、段階的な推進が期待されます。当行としても、同業他社の事例や外部支援策などの情報提供も行いながら、実行可能性に配慮した施策の選定・実施を支援してまいります。

